

表 有効積算温度計算シミュレーションによるチャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

地点	長崎	佐世保	大瀬戸	口之津	平戸
第7世代	9/5	9/4	9/19	9/9	9/21
〃 (平年)	9/8	9/17	9/23	9/9	10/2
〃 (前年)	8/30	8/31	9/14	9/2	9/18
第8世代	9/25	9/26	10/16	9/30	10/19
〃 (平年)	9/29	10/13	10/21	9/30	11/8
〃 (前年)	9/18	9/19	10/6	9/22	10/12
第9世代	10/21	10/26	-	10/31	-
〃 (平年)	10/28	-	-	10/31	-
〃 (前年)	10/8	10/10	11/12	10/13	11/20
標高(m)	27	4	43	10	58

注1:発生ピーク予測日は気象庁アメダスの気温データを用いて有効積算温量により算出した。

なお、積算には2017年9月3日までは観測値を、以降は平年値を使用した。

注2:同一地区内でも、山間部では予測発生ピーク日が異なる場合があるので注意する。また、今後の気象条件により予測日は前後する場合がある。

注3:表中の発生ピーク予測日の5日前から発生ピーク予測日の期間に薬剤散布をすると防除効果が高い。なお発生が多い園では、1果当たり寄生虫数が0.1頭に達する前に防除を行う。